事務事業調書	No	190	課 名	社会福祉課	起 案 者	山口然子
平成23年度			係 名	社会福祉係	決 裁 者	清水信行
事 業 種 別	施設管理		区 分	継続	業務一覧No	6,8
事務事業名	福祉の拠点づくり事業				他 係名	
					他係 業務一覧No	

1 事務事業の位置付けと起案事由(事業の必要性)

総合計画体系	2 健康で安心して暮らせる環境づくり 2 社会福祉 6 地域福祉 1 住民主体の地域福祉の推進 4 地域づくり・拠点づくり	予算科目(会計)	一般会計
		予算科目(款・項・目)	15-5-40
		総合計画以外の計画	高齢者保健福祉計画
		関連する総合計画の施策	2-2-1-4-1
性質区分	市の内部事務事業	法定受託事務	無
根拠法令	有	安城市福祉センターの設置及び管理に関する条例、安城市福祉センターの管理に関する規則、安城市社会福祉	
実施方法	全部委託	委託先	
実施期間	開 始 平成03年度	経 過 20年目	終 了 期 間
公約・議会答弁	無		
陳情・市民要望	無		

2 事務事業の概要

求める成果	誰(受益者)が	障害者・高齢者・児童などが	～になる	地域の活動拠点として、福祉センターなどを利用するようになる。
事務事業の内容	総合福祉センター・北部福祉センター・西部福祉センター・作野福祉センターの４箇所に加え、平成２０年度には桜井福祉センター・中部福祉センターを開設し、安城市福祉事業団に管理運営を委託しました。社会福祉会館は安城市社会福祉協議会に管理運営を委託しました。平成２１年度からは福祉事業団と社会福祉協議会の統合により、新社会福祉協議会による管理運営を行います。			
事務事業進捗状況	福祉センター関係としては、平成3年赤松町に総合福祉センター、平成9年東栄町に北部福祉センター、平成10年福釜町に西部福祉センター、平成11年篠目町に作野福祉センターを開館した。平成20年4月には桜井町に桜井福祉センターを、10月には中部福祉センターを開館しました。その他、平成12年に赤松町に社会福祉会館を開館しました。また、平成18年度から指定管理者制度により福祉事業団、社会福祉協議会に管理運営を委託し、平成21年度からは、統合した「社会福祉協議会」が指定管理者となりました。			
改善・対策の履歴	福祉事業団と社会福祉協議会が統合したことにより、事業運営と施設管理が一体的に行えます。			
環境配慮の視点	環境目標○－基本的施策○－具体的施策○			

3 事務事業の事業費(千円)、人員推移(人)

	項 目		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度
			目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)
コスト	総事業費 f=a+d+e		409,000	356,926	369,853	309,188	341,269	372,600	357,806
	財 源 計 a		407,268	355,194	369,025	308,360	340,591	371,922	357,204
	財源の内訳	国 庫 支 出 金	0	0	0	0	0	0	0
		県 支 出 金	0	0	0	0	0	0	0
		市 債	0	0	0	0	0	0	0
		その他( )	3,472	4,358	3,816	3,764	3,852	3,926	3,948
		一 般 財 源	403,796	350,836	365,209	304,596	336,739	367,996	353,256
	受 益 者 負 担 金		0	0	3,816	3,764	3,852	4,262	3,948
	職 員 人 件 費 d		1,732	1,732	828	828	678	678	602
	内 訳	従 事 職 員 数	0.23	0.23	0.11	0.11	0.09	0.09	0.08
	人事課予算分人件費 e		0	0	0	0	0	0	0

4 求める成果を得るための活動

				年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
活動	活動①	活動名（活動内容）	福祉センターの管理委託	見込(単位)	6.00	6.00	6.00	6.00
				実績b(単位)	6.00	6.00	6.00	
		指標名(単位)	施設数(か所)	活動の総事業費f 実績	281,741	288,104	259,357	
				単位コストg=f÷b 実績	46,956.82	48,017.40	43,226.23	
	活動②	活動名（活動内容）	社会福祉会館の管理委託	見込(単位)	1.00	1.00	1.00	1.00
				実績b(単位)	1.00	1.00	1.00	
		指標名(単位)	施設数(か所)	活動の総事業費f 実績	11,901	10,644	10,657	
				単位コストg=f÷b 実績	11,901.00	10,643.90	10,657.30	
	活動③	活動名（活動内容）		見込(単位)				
				実績b(単位)				
		指標名(単位)		活動の総事業費f 実績				
				単位コストg=f÷b 実績				

5（1） 成果の目標と実績

		指標名・指標式(単位)	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
成果	成果1	福祉センター利用者数(人)	見込(単位)	507,000.00	543,000.00	568,000.00	580,000.00
			実績(単位)	532,281.00	557,579.00	568,596.00	
			達成状況	達成	達成	達成	
		目標成果指標値	0.00	目標達成年度			
	成果2	指標名・指標式(単位)	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
		社会福祉会館利用者数(人)	見込(単位)	13,000.00	13,000.00	13,000.00	14,000.00
			実績(単位)	14,109.00	15,566.00	15,368.00	
			達成状況	達成	達成	達成	
		目標成果指標値	0.00	目標達成年度			

5（2） 成果１、２以外の成果

	市民の意見、利害関係者の声などをプラス・マイナス両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
成果	団体の活動の場だけでなく、個人で利用している人達の交流の場になっています。

6 単位コストと成果の分析

	項目	どのような内部の取り組みや外部要因が影響を与えたのか、プラス・マイナスの両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
分析	単位コスト	指定管理者制度の導入による見直しにより、コストの削減に努めています。社会福祉協議会の社会福祉活動や職員構成の変動により単位コストが変動しました。
	成果1，2	平成２０年に桜井、中部福祉センターが開設されたため、利用者は増加しています。また、福祉団体の利用を優遇していることによって、多数の福祉団体の活動の場になっていたり、無料で様々な器具を利用できるため、多くの個人利用もされています。

7 所属長の改善案

	コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案、市民にわかりやすく説明する
改善	福祉センターの職員配置の見直しを図るよう働きかけること

8 方向性

方向性	必要性、効率性、有効性を踏まえ、今後どのように事業を進めるか、方向性を選択し、内容を市民に説明します
維持・継続	平成２０年に桜井福祉センターと中部福祉センターが開館し、管理経費が増大しましたが、今後も改善が図れる部分については見直しをします。